

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ホームセンタージュンテンドー新加西店	階数	地上1F
建設地	兵庫県加西市北条町東高室字四ツ池938番の一部 他16筆	構造	S造
用途地域	市街化調整区域・東高室地区地区計画区域	平均居住人員	10人
地域区分	5地域	年間使用時間	4,368時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年8月 予定	評価の実施日	2022年1月15日
敷地面積	10600.04 m ²	作成者	大西 良祐
建築面積	4731.48 m ²	確認日	2022年1月20日
延床面積	4812.48 m ²	確認者	大西 良祐

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合 建築物の高さは出来るだけ低くし、又、メイン道路より奥まった位置に配置することに依り周辺の環境及び周囲の交通の妨げにならないように配慮した。		その他 特になし
Q1 室内環境 建築基準法を満たしており、かつ建築基準法規制対象外となる建築材料(告示対象外の建築材料及びJIS・JAS規格のF☆☆☆☆)を全面的に(床・壁・天井・天井裏の面積の合計の90%以上の面積)に採用している。	Q2 サービス性能 店舗売場天井高さ4.5mと高くとりゆとりある計画(適切な階高による計画)とし、維持管理に配慮した設計において取り組みが6項目該当している。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内に出来るだけ緑地を設けている(敷地内緑地帯の配置)及び地区計画に定められている景観基準を遵守している。
LR1 エネルギー 省エネルギー効率の高い電気設備、衛生設備の採用(省エネルギー設備の採用) モデル建物法[BEIm]での評価が0.68である。	LR2 資源・マテリアル 低環境負荷材等(節水コマなど)に加えて省水型機器(擬音装置・節水型便器など)の高い設備機器の採用。又、構造体は鉄骨とし躯体と仕上材が容易に分別可能となっており、解体・改修・更新の際に、容易にそれぞれを取り外すことができる。	LR3 敷地外環境 店舗利用者の為の適切な量の確保した自転車置場の確保、利用者への利便性の配慮をしている。又、駐車場においては御客様用として適切な量を確保し管理用車両や商品搬入用車両(荷捌き車両)の駐車施設を別に確保ともに適切な路面交通標識を設置し安全性に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される